

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) R.T
所属 (School) 工学域 電気電子系学類
学年 (Grade) 1年

留学先 (Name of overseas institution)
大邱大学

留学期間 (study abroad period)
2019/8/11~2019/08/24

記入日 (Date) 2019/9/2

留学レポート Study Abroad Report

1、はじめに

行く前に、日韓関係が悪化していて韓国ではデモなどが行われているというニュースを見てとても不安だったり、家族にも心配されたりしたが、行ってみると大邱大学の人たちをはじめ、親切な人が多く安心した。朝鮮語は英語に比べて学んだ時間が短く、今の状態でこの研修に参加して意味があるのか心配していたが、この時期に現地に行って文化を体験したり、自分の語学力がまだまだであることを知ったりすることができて、よかったと思う。私は工学域で将来就きたい仕事に直接的なかかわりが朝鮮語にはなく、今までは第2外国語の一つの教科として単位がとればよいと思っていたが、今回の研修を通してもっと韓国の方と会話ができるようになりたいと思うようになった。これからは、自分の世界を広げるために、英語に加え日本に一番近い国である韓国の朝鮮語もしっかり勉強しようと思う。

2、大邱大学

初日に筆記テストとスピーキングテストをしてクラス分けをした。私は大学に入ってから韓国語を勉強し始め、覚えている単語の数もとても少ないのでそもそも質問の意味が分からなかったりして、全然答えられなかった。授業にちゃんとついていけるか不安だったが自分のレベルにあったクラスになったので安心した。授業は一日に9時から13時の4時間あってはじめはハングルの読み方から勉強した。前期に習った範囲だったので復習になった。次に、自己紹介の仕方や食事の注文の仕方、買い物のときに使う表現などすぐに使える韓国語を習った。前期にはハムンダ体を中心に勉強していたが、韓国で実際に使われているのはほとんどがヘヨ体でだんだんそれを理解できたのはうれしかった。休みの日に市内に買い物に行ったときに実際に習った表現を使って伝わったときは感動した。正直、自分の語学力が2週間で急激に伸びたとは思わないが、ゆっくり喋ってもらって単語が節々聞き取れたり、大学で習った型にはめて言いたいことを言えるようになった。最終日には最終試験があった。習ったところばかりが出たので、質問の意味を理解してしっかり解くことができた。スピーキングテストでは質問を聞き返すことはあったが、英語を介さずに質問を理解することができちゃんと答えを言うことができた。200字の自己紹介文を書き、暗唱するという課題もあったが、語学研修に来る前はそんなに長い文を書くことはできなかったと思うので、できるようになってよかった。



3、寮での生活

寮はベッドと学習机が2つずつある二人部屋だった。トイレの真上にシャワーがあったり、虫が出てきたりしてこんな場所に2週間住めるのかと最初は不安だったが、だんだん慣れて寮での生活はとても楽しいものになった。テレビやパソコンがないので、ルームメイトの友達と話したり、誰かの部屋にあつまってご飯をたべたり、ジムにいったり運動したりなど充実した時間をすごせた。メンバーはみんな海外に興味がある人ばかりだったので、話していて面白かった。寮には佐賀大学、佐賀女子大学、社会人の方など他にも短期留学で来ている人がたくさんいた。食事は外食をしたり、食堂で食べたり、コンビニで買って部屋で食べたりした。ほとんどのメニューがとても辛かった。わたしは辛さに強いほうだと思っていたが、韓国での食事は限度を超えていて完食するのが大変だった。味はとても好きなものばかりだった。



4、文化体験

大学での授業が終わった後や、休日は学校内で文化体験をしたり、バスに乗ってでかけたりした。大学内では、伝統的な遊びユンノリをしたり、トッポギ作りをしたり、チマチョゴリを着せてもらったり、韓国映画を鑑賞したりした。大邱大学の学生と一緒に大邱市内や慶州にも行った。日本語専攻の学生はとても日本語が上手でほとんど日本語で話してしまった。日本語を勉強していない学生と話すときは英語を使った。案内をしてくれた学生はみんな日本や日本語に関心をもってきているのがわかって嬉しかった。休日には釜山に行って甘川文化村を観光したり、南浦洞でショッピングをしたりした。そこでは、日本より服や化粧品が安くたくさん買い物をした。8月15日は韓国が日本に解放された日でお祝いのお祭りがあるので外出していいのか不安だったが、飾りつけがされているだけで、お店の人たちは日本人だとわかって優しく対応してくれたので、政治と市民の考えは別なんだと感じた。今回の研修先がソウルではなく韓国で第三の都市テグだったので、普通観光ではいけない大邱や慶州、釜山などに行くことができてよかったと思う。



5、まとめ

韓国と日本の関係が悪化している今だからこそ韓国に行ってきたと思う。ニュースだけを見ると、韓国の人全員が日本人を嫌っているのではないかと感じてしまうが、実際に行ってみると日本人に優しい人ばかりだった。今回韓国にいてみて、さらに韓国のことが好きになったので、韓国語を勉強するモチベーションがあがった。迷っているなら行くべきだと思う。